



十二中だより

令和6年4月10日
足立区立第十二中学校
校長 千葉 千登勢
HP <http://www.adachi.ed.jp/adac12-j>

令和6年度が始まりました

校長 千葉 千登勢

今年度第十二中学校に校長として着任しました千葉千登勢です。前任校は伊興中学校でした。綾瀬地区は初めてですので、保護者や地域の皆様からご指導、ご鞭撻をいただき、いち早く慣れていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

4月8日の月曜日に始業式を行い、新しく2・3年生に進級した生徒の元気な姿を見ることができました。そして、4月9日の火曜日には、108名の新入生を迎え、全校生徒314名で令和6年度がスタートしました。昨年度より十二中では、コロナ後の社会の変化に応じて、生徒に過度な負担をかけることなく本来の教育活動を実践するために、様々な工夫をしております。今年度も上岡前校長の意志を引き継ぎ、10代前半で身に付けなければならない経験を積ませ、生徒一人一人が「たくましく生き抜く力」を身に付けられるよう、指導してまいります。



第78回入学式が盛大に行われました。

さて令和6年度、十二中では「ひとりひとりが誰かを支える十二中生！」をスローガンとして、さりげない思いやりを日々の何気ない行動として、当たり前実践できるようになるよう生徒に伝えました。十二中の生徒は、着任早々元気にあいさつができ、明るく学校生活を送っている生徒が多いと感じました。反面、「相手の気持ちを受け止めて話を聞き、自分の考えをきちんと相手に伝えること」や「クラスの仲間と協力すること」について、日常のさりげない、当たり前の行動ができない場面があるようです。そこで今年度は、「自他の尊重」をキーワードに教育活動を展開しようと考えました。「自他の尊重」とは、自分も相手も大事にする気持ちをもつという意味で、「さりげない思いやりの心」を大切にすることです。一人一人の生徒がちょっと意識をしていけば、学校生活はより安心安全な居心地の良い場所となります。

また、今年度は防災教育を地域や区教育委員会と連携して行っていきます。昨今の地震や水害に対する備えは早急に実施しなければならない課題です。対策についてはまず教員が専門家から研修を受け、生徒の地域防災への意識を高めてまいります。中川地区として、第十二中学校が防災教育の先陣を切っていくように努めていきたいと思っております。

さらに、一昨年度より区教育委員会主催の「あだち日本語学習ルーム分室」が十二中に設けられ、日本語が不自由な生徒の日本語支援が行われています。こちらは、日本語学習ルームに別途申し込んでいただいて、利用することになります。日本語の理解に困難さを抱えられているご家庭は、是非ご活用ください。

4月は環境が変わって緊張が続き、心身共にバランスを崩しやすい時期です。お子さんの様子をいつも以上に見守っていただければ幸いです。なお、困ったことや悩んでいることがございましたら、遠慮なく担任や学年教員、養護教諭、スクールカウンセラーにご相談ください。

今後とも保護者や地域の皆様のご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。